

報道関係者各位

株式会社ミマキエンジニアリング
(コード番号：6638 東証プライム)防災用品を、日常にまとうファッションへ
次世代捺染システム「TRAPIS」で京都大学防災研究所の防災コート制作に協力

株式会社ミマキエンジニアリング（本社／長野県東御市、代表取締役社長／池田 和明）は、国立大学法人京都大学防災研究所 附属巨大災害研究センターの土佐尚子特定教授が推進する取り組み「Phase Free Fashion」において、防災コートの制作に協力しました。本制作では、当社のデジタル捺染プリントシステム「TRAPIS（トラピス）」により、一般的にプリント加工が難しいとされる、難燃性のPBO^{*1}繊維へのデジタルプリントを実施。防災用品としての機能性が求められる素材に、ファッションとしての彩りと意匠性を加えました。

*1 Poly(p-phenylene benzobisoxazole)の略

今回の防災コートに使用されたPBO繊維は、高強度かつ難燃性を備え、防護衣料や工業用途などに使われる高機能素材です。一方で、染料やインクが定着しにくく^{*2}、色や柄を表現することが難しいという課題がありました。

当社は、幅広い生地へプリントできる「TRAPIS」の特長を活かし、PBO繊維への意匠表現を実現。防災用品としての機能性を維持しながら、彩りとファッション性を付与することで、非常時だけでなく日常でも自然に身にまとえる防災コートの制作を支援しました。

*2 出典：「Pretreating poly(p-phenylene benzobisoxazole) fibre with swelling agent in supercritical carbon dioxide for improving its dyeability」, Coloration Technology <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/cote.12025>

「Phase Free Fashion」は、防災用品を「非常時のためだけの特別なもの」ではなく、日常生活の中で自然に身に着けられるファッションとして提案する取り組みです。本プロジェクトは、防災服を日常の装いとして取り入れられるものにするこ

所属し、芸術家としても活動する土佐尚子特定教授の考えを背景に進められています。今回の防災コートには、土佐教授のアート作品「Sound of Ikebana」をモチーフとしたデザインを採用し、防災に求められる機能性に、日常の装いとしての美しさを加えています。

当社は今回の制作協力を通じて、高機能素材にもデジタルプリントによって彩りや意匠性を加えられる可能性を示しました。今後もプリント技術によって「機能」と「美しさ」を両立する新たなものづくりを提案してまいります。

次世代捺染システム「TRAPIS」について

「TRAPIS」は、当社製のインクジェットプリンタ、捺染顔料インク、専用転写紙及び推奨の熱転写機で構成される、シンプルで多用途な捺染プリントシステムです。印刷と転写の2ステップのみで、天然繊維・混紡素材・化学繊維など幅広い布地へのプリントが可能。専門的な技術や知識を必要とせず、簡単な捺染プリントを実現します。



TRAPIS のプリンタと熱転写機

株式会社ミマキエンジニアリングについて

ミマキエンジニアリングは、産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、3D プリンタおよびそのインク、ソフトウェアの開発・製造・販売・保守を行っています。サイングラフィックス、インダストリアルプロダクツ、テキスタイル・アパレルの市場に向け、プリント工程のトータルソリューションを提供することにより、お客様に常に「新しさと違い」をお届けするイノベーターを目指しています。

企業・IR 情報： <https://ir.mimaki.com/>

製品情報： <https://japan.mimaki.com/>

お問い合わせ先

◎報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社ミマキエンジニアリング
営業本部グローバルマーケティング部
インサイドセールスグループ
長野県東御市滋野乙 1628 - 1
TEL：0268-80-0078 / FAX：0268-80-0041
MAIL: press@mimaki.com

◎一般のお客様からのお問い合わせ先

WEB サイト問い合わせフォームより
お問い合わせください。
<https://japan.mimaki.com/inquiry/negotiation/>